

# 第1章 基本構想

---

# 1 都市づくりの基本目標

## (1) 都市づくりのキーワードと基本方針

「みやぎの中核都市・大和」の実現を目指す本町において、産業集積の拡充と定住環境の整備を促進するための取り組みを進めていくことが都市づくりに求められています。このことから、真の中核都市づくりを進めていく上では、産業の振興だけでなく、街も人も元気な都市づくりに積極的に取り組んでいくことが重要です。

これらを踏まえ、本計画では都市づくりの観点から“働く・集う・住む環境の整備”をどのように進めていくかを明らかにしていくこととし、「活力」、「快適」及び「安心」の3つをキーワードに基づき、『活力あるみやぎの産業拠点づくり』、『快適な生活を支える中心市街地づくり』及び『安心で住みやすい都市づくり』の3つを都市づくりの基本方針として掲げます。

[ まちづくりのテーマと将来像 ]

**みやぎの中核都市・大和** ～ 活力と笑顔に満ちたまちをめざして～

自然豊かでひとと産業が  
**元気なまち**

安全で快適な生活のある  
**便利なまち**

子どもや高齢者に優しい  
**安心なまち**

この実現に向けて、都市づくりには  
“働く・集う・住む環境の整備”  
が求められます

[ 都市づくりのキーワード ]

働く“環境”

**活 力**

集う“環境”

**快 適**

住む“環境”

**安 心**

[ 都市づくりの基本方針 ]

都市づくりのキーワードに基づく3つの基本方針を掲げます。

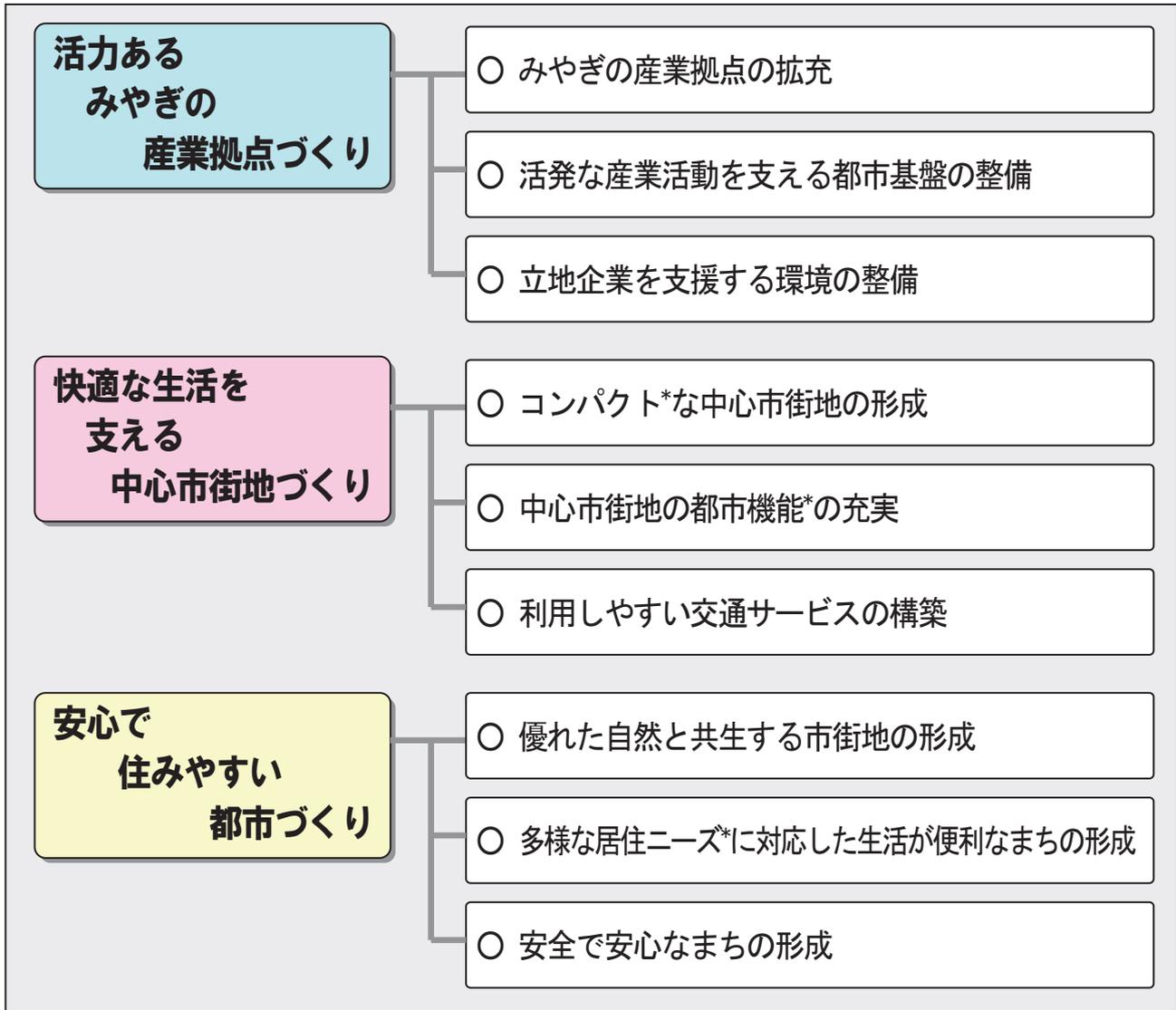
活力ある  
みやぎの  
産業拠点づくり

快適な生活を  
支える  
中心市街地づくり

安心で  
住みやすい  
都市づくり

## (2) 都市整備の目標

人口や産業、土地利用等町の特徴（本計画書の資料編参照）を踏まえながら、本計画では、都市づくりの基本方針に基づく具体的な取り組みとして、都市整備の目標を次のように定めます。



※文章中の「\*」については、巻末の用語集を参照してください

## ① 活力あるみやぎの産業拠点づくり

### ● みやぎの産業拠点の拡充

- 既存工業団地においては、自動車産業や高度電子機械産業などの進出と交通の利便性を活かしながら関連産業の立地を誘導し、活力ある「みやぎの産業拠点」の拡充を図ります。
- 県内有数の工業製造品出荷額を有する既存工業の集積や広域的な幹線道路網を活かし、新たな工業・流通業務地の拡充を図ります。

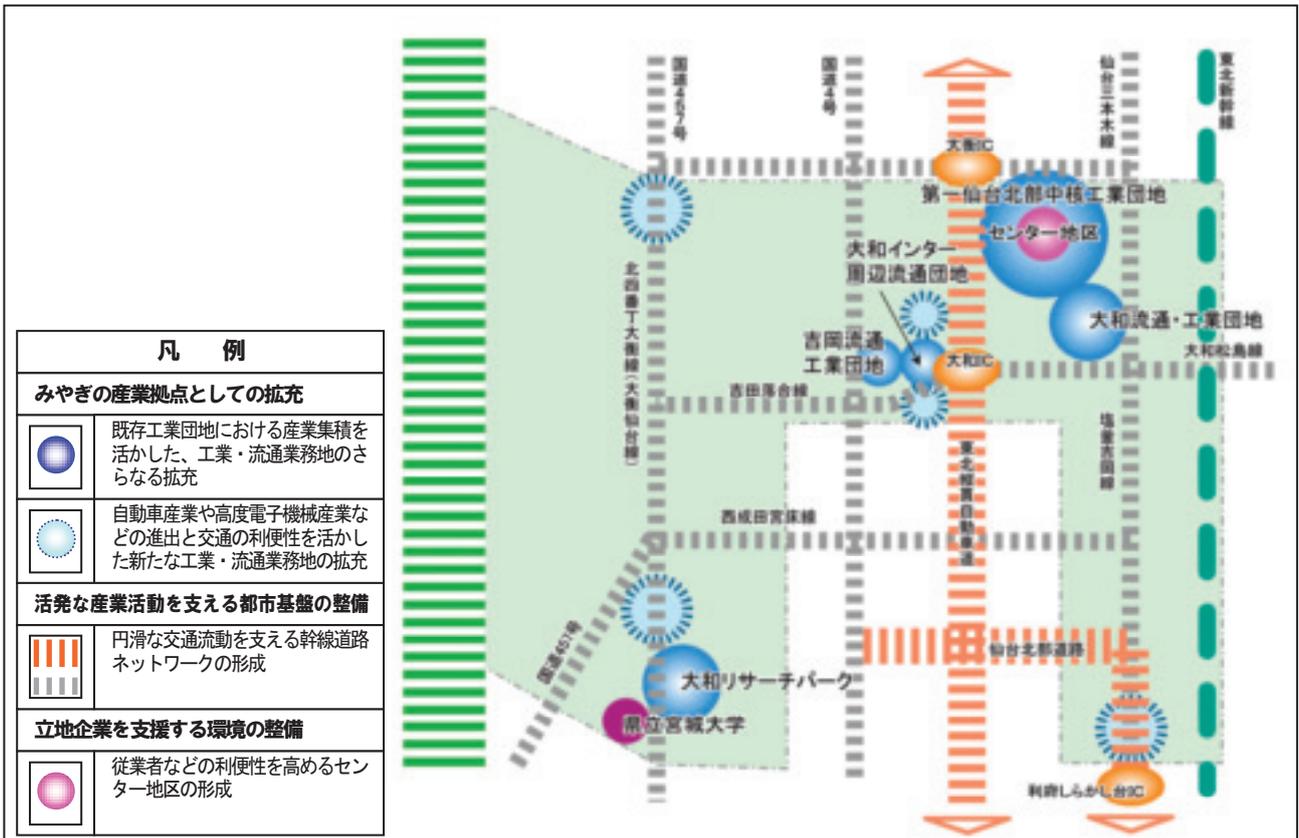
### ● 活発な産業活動を支える都市基盤の整備

- 産業活動に伴う多様な交通需要に対応し、円滑な交通流動を支える幹線道路ネットワークの整備を図ります。
- 上下水道、工業用水など、企業の活動やニーズ\*に対応した産業基盤の整備、促進を図ります。

### ● 立地企業を支援する環境の整備

- 第一仙台北部中核工業団地内センター地区に、従業者などの利便性を高めるサービス施設等の立地を誘導します。

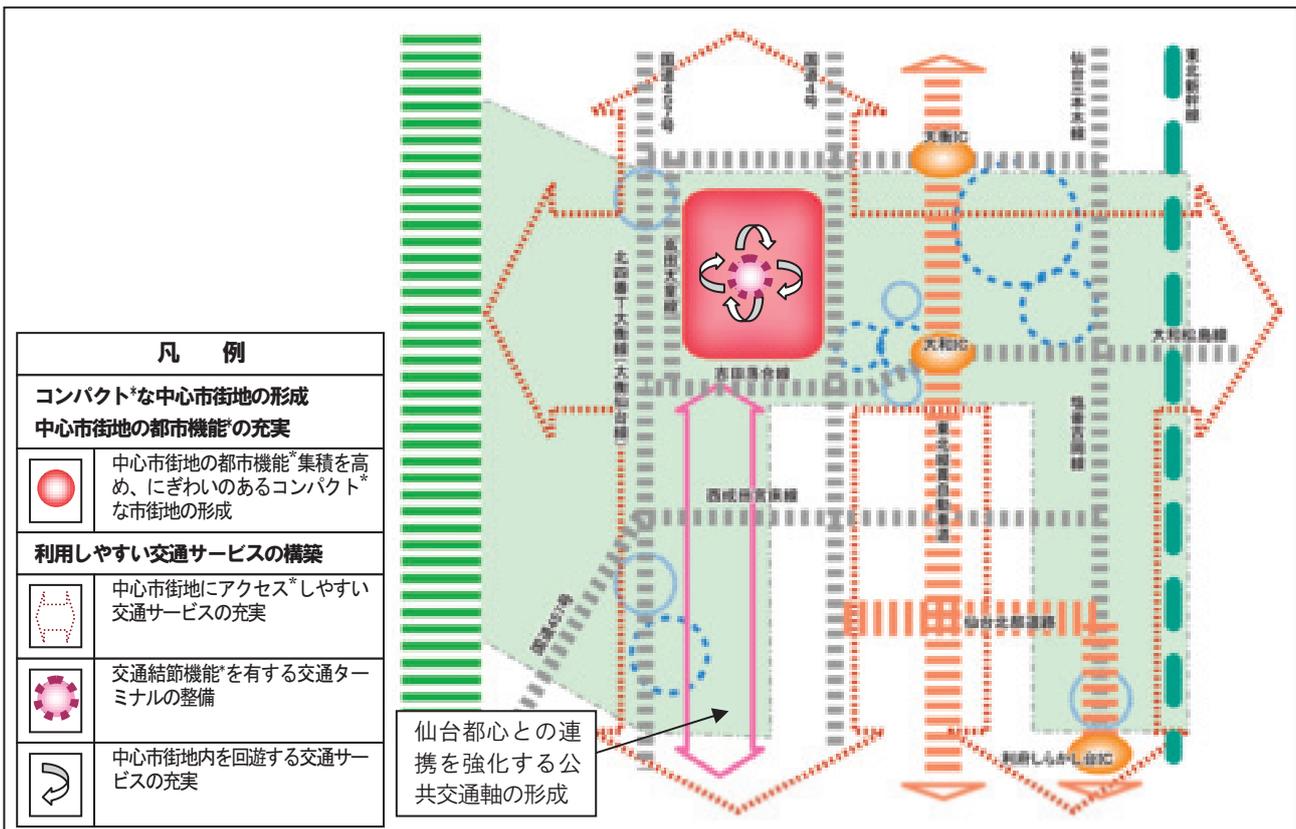
【 「活力あるみやぎの産業拠点づくり」の展開イメージ 】



## ② 快適な生活を支える中心市街地づくり

● <b>コンパクト*な中心市街地の形成</b>
○ 国道4号、（都）吉田落合線及び（都）高田大童線に囲まれた区域を本町の中心市街地に位置付け、商業、行政、医療、福祉などの多様な都市機能*を集積し、にぎわいのあるコンパクト*な市街地の整備・形成を図ります。
● <b>中心市街地の都市機能*の充実</b>
○ 人口の増加や産業集積の進展に対応し、新たに見込まれる商業施設や関連産業施設ニーズ*については、中心市街地に立地を誘導し、さらなる都市機能*の充実を図ります。
○ 役場庁舎跡地等のオープンスペース*を活用し、地域の祭やイベント広場など、人が集うにぎわいの場の創出を図ります。
● <b>利用しやすい交通サービスの構築</b>
○ 中心市街地と仙台都心との連携を強化する公共交通軸の形成を図ります。
○ 中心市街地と町内の住宅地、工業・流通業務地相互を結ぶ幹線道路の整備、町民バスなどの利便性の向上を図るとともに、中心市街地にアクセス*し、分散する交通結節機能*を有する交通ターミナルの整備を進めます。
○ 中心市街地内を回遊する町民バスなどの交通サービスの充実を図ります。

【 「快適な生活を支える中心市街地づくり」の展開イメージ 】



※文章中の「\*」については、巻末の用語集を参照してください

### ③ 安心して住みやすい都市づくり

#### ● 多様な居住ニーズ\*に対応した生活が便利なまちの形成

- 新たに町内に立地する企業の従業者やその家族の増加に対応する計画的な住宅適地の確保、整備を図るとともに、低層住宅、中層住宅、街なかへの居住や閑静な住宅地等町民の居住ニーズ\*や生活スタイルに対応した多様な住宅地の形成を図ります。
- 様々な都市機能\*が集積する中心市街地や町内外の働く場にアクセス\*しやすい、便利な交通システムの検討と充実を図ります。

#### ● 安全で安心なまちの形成

- 災害に強く、安全で安心な生活ができるように、道路、上下水道等の日常生活の基本となる都市基盤施設\*の整備、改善を図ります。
- 道路や公園等は、高齢者や障がい者の移動に配慮した安心な都市づくりを進めるため、ユニバーサルデザイン\*の理念に基づき整備、改善を図ります。

#### ● 優れた自然と共生する市街地の形成

- 森林・丘陵地などの緑や農地、貴重な動植物の生息地など、市街地を取り巻く特色ある優れた自然を積極的に保全するとともに、新たな市街地の拡大は必要な規模に制限し、自然と都市が共生する環境負荷の少ない市街地の形成を図ります。
- 船形山や七ツ森などの雄大な景観、レクリエーション地など、身近に自然と親しめ、ふれあえる場としての保全、活用を図ります。

【 「安心して住みやすい都市づくり」の展開イメージ 】

